

笑う門には
福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人:中村剛志



坂村真民記念館(砥部町)

明朗・愛和・喜働

七夕の願い

七月七日は七夕です。子供の頃、短冊に願いごとを書いて、笹竹に飾った経験がある人もいるでしょう。

七夕は、もともと中国で行なわれていた行事が日本に伝わり、日本の文化と融合したものが原型とされています。

奈良時代に日本に伝わった当初は、織姫星にあやかつて、はた織りや裁縫が上達するようにと祈るものでした。やがて、はた織りだけでなく、芸事や書道の上達を願つて短冊に和歌を書き、お供えるようになった、といわれます。

願いごとを掲げることが、そこに向かって不断的努力を続けようとするエネルギーになります。やる気や積極的な行動にも結びつきます。

願いや希望を文字に書き起こすことで、達成するまでの困難を乗り越える覚悟も固まるでしょう。

現在では何を願つても自由です。今年は、高い目標を短冊に書いて、空高く掲げてみてはいかがでしょう。

●目標を高く掲げましょう



「職場の教養」より

宇和ちゃんの啖呵山短歌

川岸のハザードランプの点滅に
三々五々と螢寄り来ぬ

黄砂なる大量緻密兵器にて
この島国を埋め尽くすらし

八木健さんの川柳アート



保親さんの人生万感

限りある命愛しむか鳴く蟬の
渾身の力森をふるわす

石積み父祖の汗しむ段畑を
守る人なき過疎の村々

道しるべ

○力いっぱい働き、精いっぱい休む

このとき、この場所で、力を出し切る。

やり残しや気がかりなことがなければ、ぐっすり眠れる。